



河小だより



四日市市立河原田小学校
学校通信 第35号
令和5年12月12日(火)
文責 校長 鳥居 純樹

12月に入り、年末の慌ただしさが感じられる時期となりました。二学期も残すところ、約10日となりました。インフルエンザの流行もあり、学級閉鎖となったクラスもあります。その中で子どもたちは、体育の時間や朝の運動で持久走記録会に向けて約2分のランニングをして体力を高めるとともに自分の記録の更新を目指して一生懸命取り組む様子が見られます。朝の運動を通して、インフルエンザに負けない体力をつけてほしいと思います。

地域の方にお世話になりました！

一学期の6年生に続き、5年生の家庭科でのミシンを使ってのエプロンづくりに地域の方にミシンボランティアとしてお越しいただき、子どもたちの活動を支援していただきました。



5年生は、ミシンを使う作業は初めてだったので、各班にボランティアの方が入っていただくことにより、計画通りエプロンを完成させることができました。

子どもたちが学習の振り返りでもボランティアの皆さんに感謝の気持ちを表していますので、紹介させていただきます。

☆ボランティアさんは、優しく説明が分かりやすく、そのおかげでエプロンを4時間で完成させることができました。

☆ボランティアさんに「アイロンかけるの上手だね」と言われてうれしくなりました。これからも丁寧にアイロンをかけようと思います。

ポケットの柄は、ボランティアさんの案で作りました。ひもを通すのもボランティアさんの裏技で、すぐに通すことができたので、感謝しています。

☆ミシンの糸をセットするのに時間がかかりましたが、ボランティアさんが分かりやすく説明してくれたのでやりやすかったです。結構（エプロンは）うまくできたと思いました。これもボランティアさんのおかげだと思います。

☆ミシンで縫うところは難しかったけど、ボランティアさんに教えてもらったので、早く終わらせることができました。アイロンがけは、どうするのかわからなかったけど、ボランティアさんに教えていただきました。

☆ポケットの柄は、チューリップにしました。チューリップの茎の部分はなみ縫いをしようと思ったけど、ボランティアさんに「せっかくなので、もうちょっと茎を太くしたら」と言われて鎖のような縫い方を教えてもらいました。その方法はまだ習っていないので初めてだったので、間違っていました。でもチューリップを2つ作って2回目の茎を縫うときにはできるようになっていました。

☆ミシンの使い方が最初の時間休んでいたのがわからなかったけど、全部ボランティアさんに教えてもらいました。困ったときにはボランティアさんがすぐに教えてくれました。ボランティアさんには感謝の気持ちを、心を込めて伝えました。

竹灯り作り

地域の皆さんにお世話になり、12月7日（木）6年生が竹灯りを作りました。子どもたちが決めた模様を竹にドリルを使ってあけていく作業を地域の方に教えていただきながら活動しました。

ドリルを使った経験が少ない子が多く地域の方に教えていただき、上手に穴をあけられるようになってきました。

子どもたちが作った竹灯りは地区市民センターで点灯式をして、河原田神社と大治田神明社に飾られることになっています。



点灯式 12月22日（金）16：00～ 河原田地区市民センター

【竹灯り点灯】

河原田地区市民センター 12月22日（金）～12月25日（月） 17：00～21：00

河原田神社 12月28日（木）～1月4日（木） 17：00～6：00

大治田神明社 12月30日（土）～1月4日（木） 17：00～6：00

お時間が許せば、子どもたちの力作をご覧ください。とともに竹灯りの神秘の世界観を味わってください。



西日野にし学園との交流会

12月4日（月）、1年生が西日野にし学園との交流会を行いました。西日野にし学園との交流は、河原田地区に住んでいて、西日野にし学園に就学している児童と年に数回交流する機会を設け、互いを知る活動をしています。1年生だけでなく、2年生、3年生、5年生が交流をすることで、相互理解に努めています。

12月3日（日）～9日（土）までの1週間は障害者週間と定められています。障害の有無にかかわらず、国民一人一人が人格と個性を尊重し合える「共生社会」の実現に向けて「障害者基本計画」が制定されています。

特別支援学校で社会的自立にむけての学習に取り組んでいます。学校が違って地域仲間として互いを知り、互いを尊重して互いに協力して助け合える河原田地区となることを願っています。そのためにも互いを知る機会となる交流会は、大切な活動となります。



1年生では、西日野にし学園の1年生が来校して、いっしょにじゃんけん列車を楽しみました。

